

## 令和7年度 第3回千葉県スポーツ推進審議会議事録

- 1 日 時 令和8年3月4日(水) 14時00分～15時30分
- 2 場 所 千葉県役所本庁舎(高層棟)2階 XL会議室203
- 3 出席者 (委員)  
小川直哉会長、五月女重夫副会長、國吉敏和委員、佐倉和明委員、佐藤和子委員  
高橋薫委員、馬場宏輝委員、吉澤裕子委員、利涉敏江委員  
(事務局)  
堺生活文化スポーツ部長、内山スポーツ振興課長、須長担当課長、山崎課長補佐、  
奈良担当課長補佐、内山主査、吉井主査、北田主査、田口主査、田母神主任主事、  
島崎主事、大西主事  
島田保健体育課主任指導主事  
布施公益財団法人千葉県スポーツ協会事務局補佐

### 4 議 題

#### (1) 報告

- ア WEBアンケート調査の結果について
- イ 令和7年度スポーツイベントの開催状況について
- ウ 令和7年度トップスポーツ連携事業について
- エ 令和7年度千葉県スポーツ功労者について
- オ 令和7年度教育・文化・スポーツ功労者について
- カ 部活動地域展開について

#### (2) 審議

- ア 第2期千葉県スポーツ推進計画について
- イ 補助金の交付状況について
- ウ 千葉市のスポーツ推進への提言

### 5 議題の概要

#### (1) 報告

6項目の報告を行った。

#### (2) 審議

第2期千葉県スポーツ推進計画についてご審議いただいた。  
補助金の交付状況についてご審議いただいた。  
千葉市のスポーツ推進への提言についてご審議いただいた。

### 6 会議経過

開 会 14時00分

【山崎補佐】本日の進行を務めます、スポーツ振興課の山崎でございます。なお、本審議会は千葉県情報公開条例により、公開することになっております。本日傍聴者はありません。なお、会議終了後、議事録の作成、議事録の確定を行い、開示されることとなりますので、あ

あらかじめ御了解ください。それでは次第に従いまして、はじめに、小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川会長】 みなさんこんにちは。本日は、お忙しい中、令和7年度第3回スポーツ推進審議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

ミラノ・コルティナオリンピックでは、金メダル5個を含む計24個という史上最多のメダルを獲得し、国民に大きな感動を与えてくれました。今後もパラリンピックや、明後日にはワールド・ベースボール・クラシックが開催され、日本人選手のさらなる活躍が期待されるところであります。

さて本日は、報告事項が6件、審議事項が3件となっております。みなさま、ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

【山崎補佐】 ありがとうございます。続きまして、生活文化スポーツ部長堺よりご挨拶申し上げます。

【堺部長】 みなさま、こんにちは。生活文化スポーツ部長の堺です。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本市のスポーツ行政にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。今年、そして来年は、未来から振り返ったときに、「千葉市のスポーツが大きく動いた年だった」と言われるような年になるのではないかと感じています。プロスポーツの世界では、アルティエーリ千葉さんやジェフユナイテッド千葉さんがトップリーグへ昇格され、非常に躍動されています。市民の皆さんも元気になりますし、まち全体も心なしか明るくなっているように感じています。また、今年には千葉開府900年という節目の年でもあります。平安時代に亥鼻に千葉氏が移り住んでから900年という歴史のある年の中で、アーバンスポーツの振興として、ブレイキンの世界大会の誘致にも成功し、新しい取り組みが展開されています。スポーツを通じて、多様な生活の在り方を提供できる千葉市になっていくのではないかと考えています。これまで皆様にご審議いただいてきた2年間は、ちょうどスポーツ推進計画の策定時期に当たっており、さまざまな立場でご活躍されている皆様から多くのご意見を賜うことができ大変ありがたく、うれしく思っております。今後も、しっかりと取り組みを進めていきたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【山崎補佐】 それではこれからの進行につきましては小川直哉会長をお願いいたします。

【小川会長】 それではまず、「議事録署名人」についてですが、先程、進行の方から説明がありましたように、本審議会は会議の公開がされているわけでございます。議事録の確定方法につきましては、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思います。よろしいですか。

【各委員】 <異議なし>

【小川会長】 それでは、議事録署名人として、五月女委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【五月女委員】 <了承>

【小川会長】 それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。最初に、報告事項1の「WEBアンケート調査の結果について」、スポーツ振興課よりお願いします。

【田口主査】 <資料1により報告>

【小川会長】 ありがとうございます。それではただいまの報告で何かご質問等ありますか。

【各委員】 <質問・意見なし>

【小川会長】 それでは、次に進めてまいります。報告事項2の「令和7年度スポーツイベントの開催状況について」、スポーツ振興課よりお願いします。

- 【田口主査】＜資料2により説明＞
- 【小川会長】ありがとうございました。それではただいまの報告で何かご質問等ありますか。
- 【各委員】＜質問・意見なし＞
- 【小川会長】それでは、次に進めてまいります。報告事項3の「令和7年度トップスポーツ連携事業について」、スポーツ振興課よりお願いします。
- 【田口主査】＜資料3により説明＞
- 【小川会長】ありがとうございました。それではただいまの報告で何かご質問等ありますか。
- 【各委員】＜質問・意見なし＞
- 【小川会長】それでは、次に進めてまいります。報告事項4の「令和7年度千葉市スポーツ功労者について」、あわせて報告事項5の「令和7年度教育・文化・スポーツ功労者について」、スポーツ振興課よりお願いします。
- 【奈良担当課長補佐】＜資料4・資料5により説明＞
- 【小川会長】ありがとうございました。それではただいまの報告で何かご質問等ありますか。
- 【各委員】＜質問・意見なし＞
- 【小川会長】それでは、次に進めてまいります。報告事項6の「部活動の地域展開について」、保健体育課よりお願いします。
- 【島田主任指導主事】＜資料6により報告＞
- 【小川会長】ありがとうございました。それではただいまの報告で何かご質問等ありますか。
- 【五月女委員】個人的な意見になりますが、これまでもお話ししてきたことではありますけれども、結局は企業が担う形になるのかな、という印象を持っています。やはり部活動は教育の一環だと思っていますし、ビジネスではない、生徒は商品ではない、という気持ちは今もありますので、自分としては、できるところで、できる範囲で関わっていきたくと思っていますが、こうして大手の企業が入ってくると、社会体育の指導者が関わる余地はなくなってしまったのかなと感じています。
- 【小川会長】スポーツ庁と文化庁の有識者会議で、中学校の部活動は、あくまで学校教育の一環であるという考え方を維持する、ということが改めて決まったという理解でよろしいですよ。私も新聞記事で読んだ程度なのですが、当面は、平日の学校の部活動と地域展開が併存して進んでいくということだと思っています。その点について、千葉市も同じような考え方で進めていくという理解でよろしいでしょうか。
- 【島田主任指導主事】現状の整理としては、来年度に、例えば夏の総合体育大会をすべて地域で実施する、というような状況にはなっていません。小川会長がおっしゃったとおり、平日の学校における部活動と、地域展開は当面の間、共存していく形になると考えています。一気に部活動をすべてなくす、という形での取り組みは、千葉市としては現時点ではできていない状況です。
- 【馬場委員】コメントと質問のような形になりますが、特にお答えいただくなくて大丈夫です。市原市では、今年1月に「市原市部活動地域展開推進ビジョン」を市で策定しまして、市のホームページに概要版と全編が掲載されていますので、よろしければご覧いただければと思います。国の動向として、「地域クラブ活動のあり方および認定制度」という国がクラブの要件のようなものを示したという状況がありますので、それに市としてどう対応していくのかを、今後考えていく必要があるのではないかと思います。市原市のほうは、市の基準が国の基準より少し上だったこともあり、特に問題なく対応できそうだという印象を持っています。そのため、地域クラブの認定制度にどう対応していくかという点は、今後重要になってくるのではないかと思います。また、具体的な取り

組みについてですが、令和8年度は教員の兼職兼業を行わないという方針が示されており、原則としつつも、やる気のある方には上手に関わっていただく方法もあってよいのではないかと感じています。指導者の「確保」というよりも、「育成する」という発想で進めていただけたほうがよいのではないかと感じています。市原市では、市として年に2回、指導者育成の講習会を実施しており、今年度は、技術指導ではなく、クラブ運営に関わる人材を育成するための講習会を予定しています。クラブマネージャーのようなハードルの高い役割ではなく、技術指導以外の部分でさまざまなお手伝いをしてもらえる人材を育てていく内容でありまして、育成は重要な視点だと感じています。さらに、現在は主に休日の取り組みが中心ですが、平日をどうしていくかという点が一番のポイントだと思っています。そこを見据えた取り組みを進めていかないと、行き詰まってしまわないかと感じています。加えて、施設の開放や遊び場の確保といった視点や、現在の部活動の受け皿としてだけでなく、これまでスポーツにあまり積極的でなかった子どもたちのスポーツ参加についても、検討に入れていただければと思います。アンケートでは子どものスポーツ実施率が示されていましたが、体力・運動能力の状況もあわせて見ていくことが重要ではないかと考えていますので、そのあたりも含めて、今後の検討材料にしていただければと思います。

【小川会長】ただいまの馬場委員からのご意見につきましては、参考意見として事務局で受け取ってください。

それでは、引き続き審議事項に入ります。審議事項1の「第2期千葉市スポーツ推進計画について」、スポーツ振興課よりお願いします。

【田口主査】<資料7により説明>

【小川会長】ありがとうございました。それではただいまの説明で何かご質問等ありますか。

【佐倉委員】前回は質問させていただきましたが、少年スポーツ連盟とスポーツ少年団を、今後どのような位置付けや形で進めていくのかという点についてです。今回の資料を見ますと、従来どおりに進んでいくように見えますが、将来的な構想がどうなっているのかが気になりました。私たちとしても、具体的な案を提示できているわけでもないのですが、ただ、次の5年間も同じ形で進めていくというのは、機会として少し惜しいと感じています。

【内山課長】前回の審議会の際に、佐倉委員からご提言をいただいたと認識しております。それぞれ当事者の方がいらっしゃる中で、少子化の進行や担い手不足といった課題があり、今後どうしていくべきかという問題があるということは認識しております。推進計画の中では、現時点では前提条件が十分に整っていないことから、具体的な目標までは盛り込んでおりません。今後は、この計画とは別に、関係各所へヒアリングを行いながら、どのような進め方がよいのか検討していきたいと考えております。

【利渉委員】昨年スポーツ基本法の大規模改正で示されていた内容が、今回の計画の中にしっかり盛り込まれていて、とても良い形だなと感じました。特に、スポーツの価値の再定義という部分で、「する・みる・支える」に加えて、「つながる」「あつまる」といったキーワードが入っていた点や、「ふれあう」という言葉も使いながら整理されていた点が良いと思いました。また、スポーツとまちづくりの一体化というのも改正時の大きなキーワードだったと思いますが、ここは市の中でも横断的な取り組みが必要になってくるため、なかなか難しい部分もあるかと思っています。ただ、スポーツ施設の整備と都市計画については、切り離すのではなく、なるべく連携して進めていくという意識を持って、ぜひ進めていただければと思います。参考意見になります。先ほどご説明いただいたアンケートについて、今回は、週に何回スポーツをしたか、何回以上実施した人がどの

程度増えたかといった内容でしたが、市民の方がどれだけいろいろな人とつながり、新たな社会的コミュニティに参加できたか、あるいは幸福度、いわゆるウェルビーイングがどの程度高まったかという点も重要なポイントだと思います。回数や人数といった評価指標に加えて、「新しいコミュニティにどの程度参加できたか」「スポーツを通じて幸福度が上がったと感じているか」といった質問もあわせて聞くことができると、より価値のある意見を吸い上げられるのではないかと思います。質問ではありませんが、以上です。

【小川会長】他に何かご質問やご意見はありますか。

【各 委員】<質問・意見なし>

【小川会長】それでは、本計画につきましては、委員の皆様からご承認をいただいたということで、よろしく願いいたします。事務局において最終確認を行い、公表につきましては3月末を予定して進めていただければと思います。

続きまして、審議事項2の「補助金の交付状況について」、スポーツ振興課よりお願いします。

【田口主査】<資料8により説明>

【小川会長】ありがとうございました。それではただいまの説明で何かご質問等ありますか。

【各 委員】<質問・意見なし>

【小川会長】それでは、委員の皆様からご承認をいただいたということで、よろしく願いいたします。続きまして、審議事項3の「千葉市のスポーツ推進への提言について」、スポーツ振興課よりお願いします。

【田口主査】<資料9により説明>

【小川会長】ありがとうございました。それではただいまの説明で何かご質問等ありますか。

【佐倉委員】最近のスポーツに対する考え方もかもしれませんが、提言の中に「散歩や買い物といった軽運動」という表現があります。この中の「買い物」という部分について、軽運動として捉えるべきものなのか、個人的には少し違和感を感じました。

【田口主査】スポーツを幅広く捉えるという考え方の中で、10分程度のウォーキングなども運動として捉えたいという意図があり、このような表現にしております。ただ、「買い物」という言葉だけを見ると、買い物そのものが運動であるという受け取り方をされてしまう可能性があると感じました。実際には、買い物の際に歩くことが運動につながる、という意味合いでしたので、この部分については、もう少し分かりやすい表現に修正したいと考えております。

【高橋委員】ここに必ずしも入れる、入れないは別としてですが、千葉市としてパラスポーツの推進も非常に重視されていると思いますので、提言の中にも「誰もがスポーツができる」といったパラスポーツ的な表現を入れてもよいのではないかと思います。

【堺部長】ありがとうございます。これまでも進めてきたパラスポーツの取り組みを後押ししていただけるご意見だと思いますので、ぜひ内容として追加していきたいと考えています。

【利渉委員】「はじめに」の部分の下から3行目にある「多様な市民がそれぞれの～」という記載を拝見して、その中に含まれているのかなとも思いながら読ませていただきました。ただ、もう少し書き方として明確にしたほうがよいということであれば、この章全体も含めてご検討いただければと思います。

【小川会長】「はじめに」と「1. 多様なスポーツ・レクリエーションの視点の拡大」の部分も含めまして、パラスポーツについても読み取れるように、そのあたりは事務局のほうで工夫していただければと思います。

【小川会長】他に何かご質問やご意見はありますか。

【各 委 員】<質問・意見なし>

【小川会長】それでは、委員の皆様からご承認をいただいたということで、よろしく願いいたします。以上で、審議事項につきましては終了いたします。

最後に、「その他」として、何かご質問やご意見はございますか。

【各 委 員】<質問・意見なし>

【小川会長】特にないようですので、以上をもちまして本日の議事を終了いたします。進行を事務局にお返しします。

【山崎補佐】小川会長議事進行ありがとうございました。それでは、これをもちまして、「令和7年度第3回千葉市スポーツ推進審議会」を終了いたします。ありがとうございました。

閉 会 15時30分